



上越市議会議員 宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

◆12月議会報告

◆宮崎朋子が考える

2023年、当市における未来への希望

◆委員会報告

～市民の安心安全のために～

◆地域の情報

・市民で紡ぐ、まちの景観
・道路維持事業と除雪計画

◆議員活動奮闘記

～女性カツヤクに思う～

Vol,11

発行月 2023年1月

所属

- 会派 創風
- 総務常任委員会
- 災害対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 防災士議員連盟
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

事務所

〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
携帯 090-3545-6087
q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
FAX 025-333-0424

大事な市政をしっかりと
チェックします！

市内の災害、
減災対策に
奔走します！

市民のために
変わる、進む
市議会運営に
つとめます！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色 「小町鼠」
江戸時代の若者の間で流行した気品の
ある薄い鼠色

議員の仕事・議会のあれこれ
「B面ともこ」配信中！

パソコン、携帯、スマホ
からは非ご覧ください。



YouTube B面ともこ



宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～女性カツヤクに思う～

国の女性活躍推進法施行は2016年。男女雇用機会均等法は1986年。当時の私はとにかく男性に負けじと髪の毛振り乱して働いてたっけ。あれから、ウン十年。女性たちの価値観も変わりました。目指すは踏ん張らなくても、泣き叫ばなくても、思い描く人生を「無理なく」ひょうひょうと歩んでいける世の中。それにはやっぱり「決める」場所に女性がいるべき。誰かがその道を歩む時、つまづかないよう光を照らせる人になりたいと思いつつも、今日も髪の毛振り乱す私です。



活動記録 (10/13～12/31)

- 市内行事と団体会議（三和文化祭・公民館事業他）
- (防災士会女性部/社会福祉協議会/三和振興会他)
- 市民要望調査研究(公園整備/教育/鳥獣被害/地域交通/道路保全/河川/エネルギー等10件)
- 個人研修(災害情報の発信と入手について/メタンハイドレートの可能性/頸城平野と古代史/人と環境にやさしい交通について)
- 調査研究(地域自治/地域通過の可能性/公園利活用)
- 若年女性流出課題対策について県知事へ要望(県内保守系女性議員の会)
- 宮崎ともこ議会報告会と議会通信発刊
- 上越市原子力災害避難訓練見学
- 上越商工会議所女性会と女性議員の意見交換会(11月)
- 上越地域消防事務組合定例会(12月)
- 議会運営委員会と視察(会議4回/宇都宮市議会と桶川市議会へ視察研修)
- 会派会議と勉強会(2回)
- 会派視察研修(シヤパンエキスポ/無農薬園芸農家)
- 宮崎ともこ後援会視察研修会(高田の町屋)
- 災害対策特別委員会(1回)
- 地域協議会傍聴(新道区/三和区)
- 長野市議会との交流会(11月)
- 三市議会勉強会(鳥獣被害対策)
- 臨時議会(10月31日)
- 本会議(11月30日、12月14日)
- 総務常任委員会(第7次総合計画・人事改革・男女共同参画・地域防災計画等)
- 区内議会報告実施
- 全員協議会(12月) ほか



新潟県はニシキゴイで世界へ!
(Japan Expo in NIIGATA視察)



「若年女性の流出」をテーマに
意見交換をしました。

● 3月議会の予定
3月1日(水)～3月24日(金)
議会傍聴(是非お越しください！)

地域の情報

◆市民で紡ぐ、まちの景観

旅から帰ってくると我が町のきれいさを実感いたします。そこには10年、20年の長きにわたり、まちの美化や景観づくりに取り組んでいる市民団体の存在がありました。郊外では沿道に花を植えている地域もあります。こうした地道な活動にこそ光が当たるべきと考えます。



軒先の景観がみごとです。
(地域と上越オープンガーデン愛好会さんの活動)

◆道路の維持事業と除雪計画

市の道路維持事業のうち道路修繕工事、計画的な舗装修繕、交通安全対策工事などは年間500件以上。日々のパトロールや市民からの通報、学校や地域要望などから、現場の状況を確認し安全性を見極めていきます。今年度も地元において幾つかの道路整備が完了し、地域の安全性や走行、歩行の安心に繋がりました。



(左) 歩行者に雨水がかりやすかった道路も、しっかり整備されました。
(右) 長年の地域要望により、歩道ができました。これで学生も安心です。(ともに三和区内)



令和4年度の除雪計画が出ました。市内の車両除雪延長は約1768km。計画には除雪の時間帯や優先順序、そして雪捨て場の確保など、各地区の細部に渡る内容が搭載されています。近年は局地的な大雪による通行障害も想定されます。自家用車には水や食糧、防寒装備など日々の備えをお願いいたします。

■補正予算（一般会計）

予算総額 105,520,125,000円（歳入歳出）
12月補正額 1,083,985,000円（歳入歳出）

■補正内訳

- ①エネルギー価格高騰補填金（公共施設、福祉施設、二次交通事業者、道路街灯等）
- ②軽・中等度難聴者補聴器助成事業の増額（申請件数が見込みより増えたため）
- ③3歳児検診における精度の高い視力検査実施に向けた体制構築（屈折検査機器等）
- ④スクールバスに安全装置を設置する事業（児童の置き去り事故防止のため、市内小学校スクールバス38台/公立、私立保育所の通園バスへの装置設置に必要な経費を増額）
- ⑤物価高騰を受け、市立小・中学校、幼稚園の給食における賄材料費を増額。（私立幼稚園は食材費高騰分の給付）
- ⑥創業支援利子補給補助金の増額。（申請件数が見込みを上回ったため）

少しでも負担軽減を！

■市民、事業者のエネルギー価格等高騰を緩和するための支援

- ①市民向け→国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」に基づいた 都市ガス料金の値引き。
[令和5年1月使用（2月検針）分～8月使用（9月検針）分は1㎡当たり30円/9月使用（10月検針）分は1㎡あたり15円の値引き]（税込み）
- ②中小企業/個人事業主/公益法人/農林水産事業者等向け→令和3年度の光熱水費、燃料費及び原材料費の支払実績に応じて最大30万円の支給。（条件、締め切りあり）

（詳しい内容は上越市HP/広報上越等をご覧ください）

コロナ禍4年目～変化する課題～

日頃の感染防止対策はもちろん、万が一でもあわてないように、抗原検査キットや飲料水、食料、日用品などの準備をおすすめします。また市内にはコロナ後遺症外来を持つ病院もあります。長引くコロナ禍で、他人に理解されにくい心身の不調も心配されます。ぜひ、悩まずにご相談ください。

●上越市内の感染者数は、1週間で約1600人を超えています。（令和4年12月後半現在）



- 上越市は8年前よりも刑事犯が減りました。（平成24年度1497件→令和3年度619件）
- 一方、特殊詐欺被害は年々増えています。（令和4年12月で約1億円/上越警察署管内）

市民の安心安全のために

宮崎が所属する総務常任委員会、災害対策特別委員会にて所管事務調査を行いました。

*上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画

委員会では、特殊詐欺被害の傾向や、市民の治安と防犯意識のミスマッチなどについて質疑がありました。計画では、向こう8年間の取り組みと数値目標が示されました。市民の皆様には、ぜひ「上越市安全メール」の登録をお勧めいたします。



*上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画

- ①安定ヨウ素剤の配布及び配備体制、緊急配布場所等の修正
- ②スクリーニング（放射性物質の付着を調べること）・簡易除染の実施体制等を新たに記載

宮崎も昨年の避難訓練で、配布の手順等を見学いたしました。行政には、これまで以上に丁寧な情報発信を希望します。

宮崎朋子が考える
2023年、当市に
おける未来への希望

コロナ禍と燃料や物価高騰。私たちが越えねばならない山は連なるばかり。その山を登りながら市民生活向上のため期待されるテーマに着目しました。

エネルギー港湾の発展性

当市は2つの火力発電所と1つのLNG基地を有する自治体となりました。このことは、電気・ガスの安定供給による産業立地及び雇用の創出、市民サービスに還元される電源立地地域対策交付金や、自治体における固定資産税収入増など様々な価値を生み出します。加えて上越沖には「燃える水」と称される天然ガス「メタンハイドレート」が存在します。令和4年9月には国による掘削調査が実施されました。自然体系に配慮した技術開発も進んでいるとのこと。商品化への道のりは遠いですが、漁業など地域産業と連携した取り組みに期待します。

デジタル推進、市民のために

上越市では「地域・行政のDX推進連携協定」が締結されました。ここには大手企業のDXパートナーやデジタル構築に長けた県内企業が参画しています。当面は、行政のデジタル化が主流。（紙の業務を減らし、事務手続きの効率化や記録の一元化を図るなど）これにより、市民に向き合う行政サービスの充実を期待します。私が望むは、地方の課題をデジタル技術で解決すること。医療や福祉、地域交通など、その活用は幅広いと感じます。理想はテレビを付けるように、ほしい時にほしいサービスが利用できること。議員として、まずはモデル事業の推進を要望してまいります。

新しいまちの顔に期待！

令和3年度、中心市街地における空き店舗等の利用は6件（事業補助金活用件数）。令和4年度は、13区対応型も新設されました。その業種も多種多様。ようやく支援事業の効果がでていくと感じます。新しい息の長い顔が新しい人を呼ぶ。行政の息の長い顔が新しい人を呼ぶ。行政の息の長い顔が新しい人を呼ぶ。

上越市の重要計画続々と

人口減少に伴う税収減をどう捉えていくか？ 次の3月議会では、市の屋台骨となる「上越市第7次総合計画」が出され、それに伴う「上越市第3次財政計画」「第7次上越市行政改革推進計画」「第4次上越市定員適正化計画」など、今後の当市のお金と人のやりくりに関わる重要計画が目白押しです。議会もしっかりと審議してまいります。

宮崎朋子 議会人として

議会に送り出していただきこの間コロナ禍で、私たちはよりフレキシブルな議会運営を模索してまいりました。その一つが「オンライン会議」です。災害等の不測の事態や、子育てや介護においても議員活動ができるよう、その活用を自身が所属する議会運営委員会にて検討中。また、今ある行政サービスの足りない部分、変化する地域課題への提言など、政策集団としての議会の役割が求められています。今後とも先輩、同僚議員とともに頑張つてまいります！

若年層女性の県外流出を考える

「なぜ、女性がいなくなってしまうのか？」これは地方課題の一つです。令和3年新潟県人口移動調査では、若年層女性（15歳～24歳）の県外転出は年間5926人。その転出理由は学業や職業のため。

この度、上越市第4次男女共同参画基本計画（案）においても「女性の市内定住、U・Iターンのための環境整備」の事業が新設されました。ふるさとを選択する人、離れる人、そして帰ってくる人、縁あって当地に来られた方など背景は様々。現代は多様性の社会。当市においても、なかなか策が見つからなかったことも事実です。私が圧倒的に足りないと思うのは、教育や職業の選択肢。そしてそれで生きていける土壌。まちの開放感や勢いも大事という若い方の声もあります。皆様のご意見、ぜひお聞かせください。



教育、就農、防犯の観点からこの課題に関する政策を県へ要望。（県内保守系女性議員の会にて）